

新型コロナウイルス感染症対策について

1 患者発生状況

(1) 患者数 (感染者累計: 101,565 件) (3月21日時点)

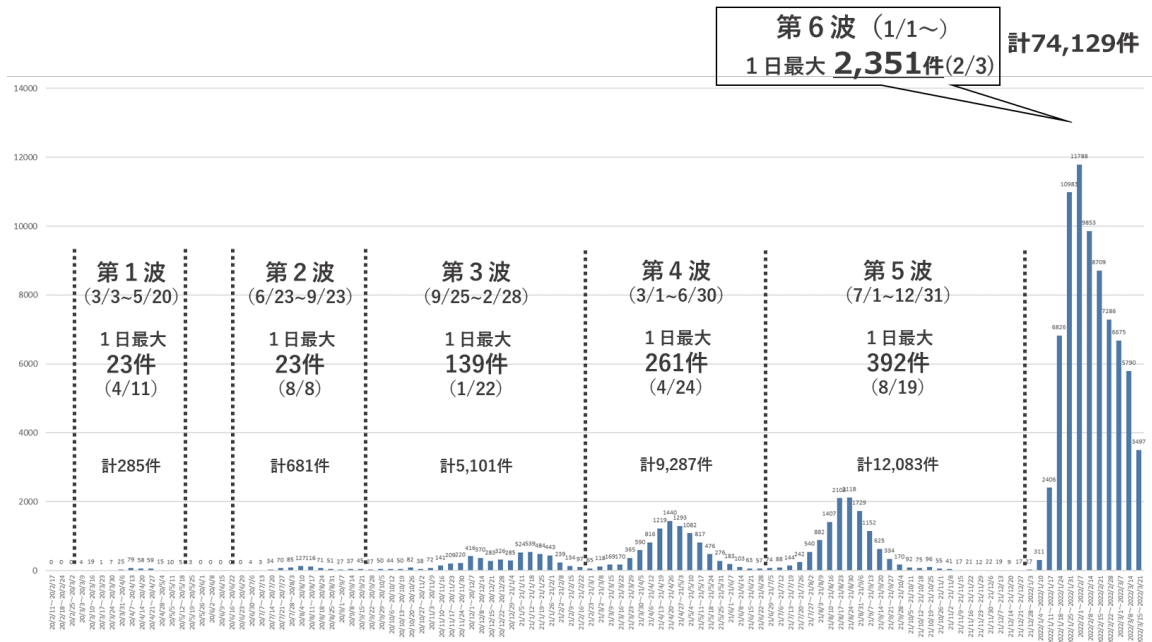
※過去最多: 2月3日 2,351人

●直近の状況 (発表日ベース)

3/21 ~ 264人 前週の同日比 (累計) -12人 -4%

	期間	月	火	水	木	金	土	日
今週	3/21~3/27	3/21	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27
	感染者数	264						
	累計/週	264						
	先週比 (累計)	-12						
	先週比 (%)	-4%						
先週	3/14~3/20	3/14	3/15	3/16	3/17	3/18	3/19	3/20
	感染者数	276	874	1067	664	626	658	493
	累計/週	276	1150	2217	2881	3507	4165	4658
先々週	3/7~3/13	3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13
	感染者数	297	1174	1154	995	892	846	737
	累計/週	297	1471	2625	3620	4512	5358	6095

期間別の感染状況



- ・直近の陽性件数の状況は、2月3日の2,351件をピークに減少傾向ではあるが、高止まりしている（第5波までの過去最多：392件（8月19日））。
- ・第6波の新規感染者は3月21日時点で74,129人であり、第1波から第5波を合わせた感染者数約27,500人の約2.7倍となっている。

(参考)

- ・第5波のピーク時1週間の感染者数(確定日ベース)
8/18~8/24 2,134人（1日平均 305人）
 - ・第6波のピーク時1週間の感染者数(確定日ベース) 1/30~2/5 12,423人（1日平均1,775人）
- 約6倍

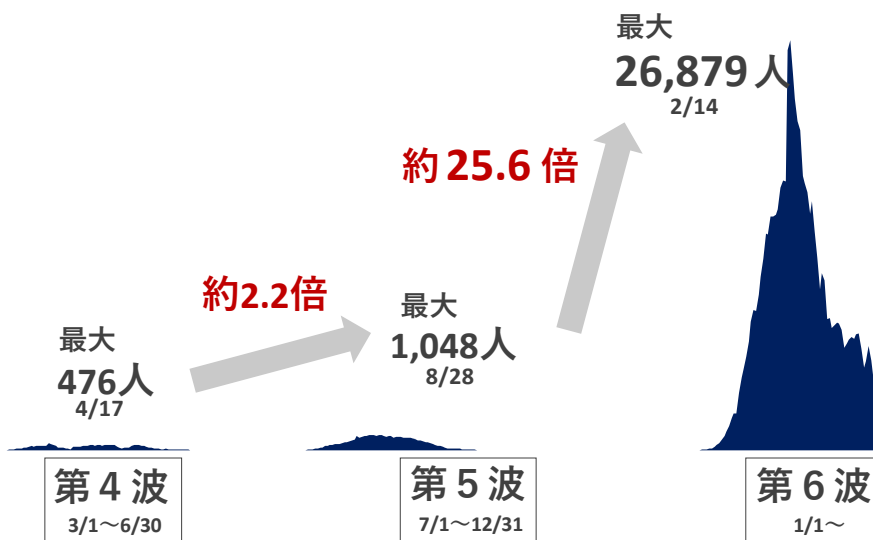
(2) 入院・入所・自宅療養者数の直近の比較

入院・入所・自宅療養者数の直近の比較

	直近の状況 第6波(R4.1~)			【参考】過去の入院・入所患者ピーク				
				第5波 (R3.7~R3.12)	第4波 (R3.3~6)	第3波 (R2.9~R3.2)	第2波 (R2.6~9)	第1波 (R2.3~5)
	3/21	3/14	差	9/2	5/15	12/9	8/23	4/25
入院・入所患者	334人	368人	-34	532人	429人	304人	96人	140人
入院患者数	196人	231人	-35	284人	276人	170人	72人	106人
（うち重症）	(6人)	(7人)	-1	(18人)	(23人)	(11人)	(8人)	(9人)
宿泊療養施設入所患者	138人	137人	+1	248人	153人	134人	24人	34人
自宅療養者	5391人	7675人	-2284	936人	288人	—	—	—
療養先調整中	754人	904人	-150	1165人	1509人	254人	36人	—

※市内在住者の数字

自宅療養者数の推移（第4波以降）



※市内在住者の数字

①入院の状況

3月21日現在で病床使用率は60.6%(241/398床)、
重症患者病床使用率22.6%(12床/53床)、うち重症者15.1%(8/53床)

②宿泊療養施設の状況

施設名	入所状況
	(3/21時点)
ニチイ神戸 ポートアイランドセンター宿泊棟 令和2年4月11日～	11/20室程度※
東横INN 神戸三ノ宮駅市役所前 令和2年8月19日～	36/110室 33%
東横INN 神戸三ノ宮 I 令和2年12月19日～	28/88室 32%
ホテルサンルートソプラ 神戸アネッサ 令和3年8月20日～	27/138室 20%
ポートタワーホテル 令和3年9月18日～	28/148室 19%
ホテルサンルートソプラ神戸 令和4年1月21日～	30/176室 17%

160/680 室 (6 施設合計)
24% (3月21日時点)

(市外在住者を含む)

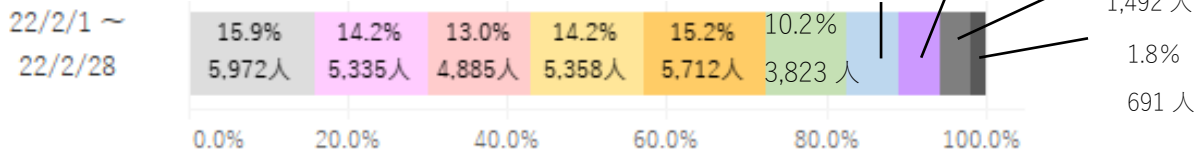
※酸素投与が必要な要介護者等の受け入れ施設として活用するため、一時的に室数を100室から20室程度に変更(2月5日～)。

③自宅療養者の状況

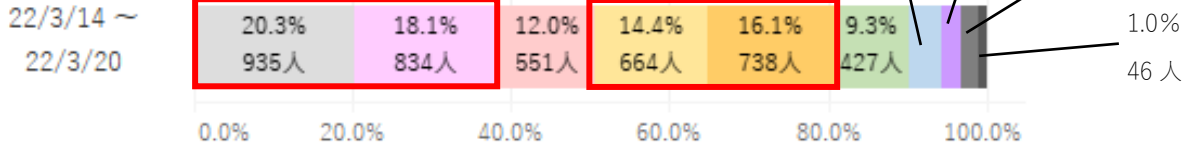
3月21日現在、自宅療養者数は5,391人となっている。また、第6波の最多である26,879人(2月14日時点)は、第5波のピーク(1,048人)の約25.6倍となっている。

(4) 年代別の感染状況・重症度

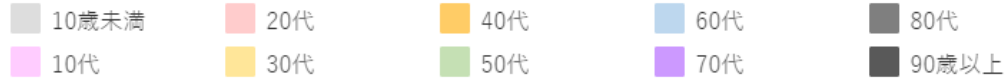
▼2月の状況



▼直近の状況

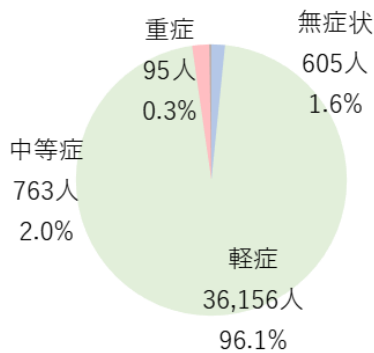


<凡例>



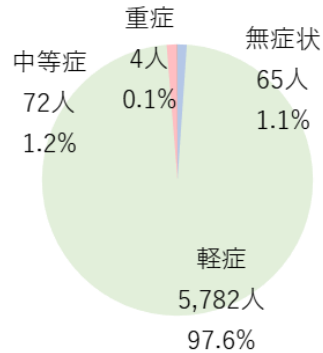
▼2月の状況

22/2/1~22/2/28



▼直近の状況

22/3/7 ~ 22/3/13



◎直近の状況は、10歳代以下の新規感染者数の割合が約4割、30・40代が約3割となっており、学校・保育施設でのクラスターの発生及びそれに伴う家庭内感染の影響が考えられる。

◎重症度については、感染者の9割以上が軽症・無症状となっているが、

- ・症状が軽いため、医療機関で受診せず、気づかぬうちに感染拡大の恐れがある。
- ・軽症であっても、後遺症が出ている割合が多い。
- ・感染者が増加すれば、中等症・重症者の割合が低くても患者数は増加し、医療逼迫を招く恐れがある。

(5) クラスターの発生状況

- ・クラスターの発生状況としては、3月21日現在、累計で698件。
また、第6波でのクラスターの発生件数は440件。

	件数						件数合計	人数	
	第1波 3/3~5/20	第2波 6/23~9/23	第3波 9/25~2/28	第4波 3/1~6/30	第5波 7/1~12/31	第6波 1/1~		人数	割合
保育所・学校	1	3	10	25	35	269	343	4622	42.3%
高齢・障害福祉施設	1	2	18	48	12	124	205	3419	31.3%
病院	2	1	14	16	6	34	73	2113	19.3%
公的機関	2	0	2	1	2	9	16	141	1.3%
民間事業所	0	0	5	11	23	4	43	463	4.2%
酒類提供飲食店	0	2	5	2	4	0	13	120	1.1%
スポーツ・娯楽施設	0	0	4	1	0	0	5	44	0.4%
合計	6	8	58	104	82	440	698	10,922	100%

2 第6波への対応

(1) 病床の確保

- ・国の病床確保方針を踏まえ兵庫県と連携しさらなる病床確保を行い、3月15日時点で受入可能な病床は398床（うち重症病床53床）。
- ・さらなる感染拡大時には通常医療の制限により最大434床（うち重症病床53床）を確保。

(参考)

- ・重症病床の確保状況

中央市民病院 36床、神戸大学医学部附属病院 12床、民間病院 5床 計 53床

(2) 宿泊療養施設の確保

①確保施設数・室数

感染拡大に伴い、宿泊療養施設を6施設、合計680室を確保。

②酸素投与が必要な要介護者等の受け入れ施設としての活用

第6波においては、濃厚接触者の増加や学校園・保育所の休校・休園の影響によって病院スタッフの確保が困難な状況となっており、病床使用率以上に患者受入れが難しい状況が発生。

そのため、ニチイ神戸ポートアイランドセンターを、酸素投与が必要な要介護者等を受け入れ、一時的に対処する施設として活用（2月5日～）。

- ・中等症Ⅱ（SpO₂（酸素飽和度）90～95%）の要介護者（要介護度3～4程度まで）など20名程度受入可能。

(参考)

中等症Ⅱ・要介護の方の受け入れ状況：3名（3月15日時点）

(3) 早期対応による重症化防止の強化

①外来受入医療機関の拡充（11月11日～）

自宅療養者の早期対応をより強化するため外来受入医療機関を拡大した（15→20医療機関）。

（実績） 1月： 83件
2月：171件
3月（3/1～3/11）：28件

②電話診療・往診の実施

自宅療養者の受診の機会が増えるよう、神戸市医師会等による電話診療・往診を実施（令和3年4月23日～）。

（実績）・往診 1月：33件
2月：136件
3月（3/1～3/11）：16件
・電話診療 1月：32件
2月：69件
3月（3/1～3/11）：18件

③夜間・休日のオンライン診療・往診の実施

夜間・休日においても診療を受けられるよう、民間事業者への委託によりオンライン診療を実施し、必要な方には往診を行う（2月1日～）。

（実績）・往診 2月：126件
3月（3/1～3/11）：11件
・オンライン診療 2月：7件
3月（3/1～3/11）：1件
・電話診療 2月：5件
3月（3/1～3/11）：0件

④自宅療養者夜間コールセンターの設置

急増する自宅療養者に対応するため、保健所・各保健センターでそれぞれ対応している夜間の電話相談を集約し、夜間の電話対応を一元化（1月12日～）。

(4) 外来医療ひっ迫への対応

①検査キットでコロナ陽性の結果となった場合の保健所での診断開始

陽性患者の健康観察を迅速に行い、重症化予防や適切な医療につなげることを目的として、新型コロナウイルス感染症検査キットで陽性の結果となった場合は、これまでの医療機関受診による確定診断に加えて、神戸市保健所においても、下記の条件を満たす場合には診断を行う（2月16日～）。

・対象者

薬事承認されている検査キット等で検査をし、陽性判定となった神戸市にお住まいの方のうち、症状が軽く重症化リスクの低い方。

(実績) 発生届作成 309 件 (3月15日時点)

②疑似症診断の開始

同居家族などの感染者の濃厚接触者が有症状となった場合には、医師の判断により検査を行わなくとも、臨床症状で診断を実施 (1月27日～)。

③外国人検査相談コールセンターの開設

言語のハードルをなくし、症状の相談や検査を受けやすくするため、日本滞在歴が5年以内の外国人で日本語での電話相談が困難な方を対象に専用相談コールセンターを開設し、症状の相談や無料のPCR検査の案内を行う (1月24日～)。

相談対応実績: 149 件 (3月13日時点)

(5) 保健所業務の重点化

新規感染者が急増する中、療養者の重症化防止および適切なフォローアップを行うため、以下の保健所業務について重点化している。

①調査の重点化

自宅療養者の健康管理を重点的に行うため、1月17日から濃厚接触者への対応は同居者のみとし、積極的疫学調査について、電話での患者調査にする等、重点化を行っていたが、重症化リスクの高い対象者への支援にさらなる重点化を行うため、2月5日から積極的疫学調査は、重症化リスクのない方への調査を当面の間、停止した。

②検査の重点化

陽性患者が発生した学校園のクラス全員に対する検査及び感染の疑いのある方が利用した飲食店への検査については、高齢者、障害児・者の施設への検査を重点化するため、1月26日から当面の間、停止。

また、市が実施する濃厚接触者の検査は、1月17日から自宅療養者の健康管理を重点的に行うため、同居者のみに限定し実施していたが、重症化リスクの高い対象者への支援に重点化するため、2月5日から濃厚接触者への検査を当面の間、停止。

※ただし、有症状者は医療機関を受診いただく。

③健康観察の重点化

自宅療養中に症状が悪化した患者への対応と新規感染者への対応に重点化するため、原則として、症状が悪化した患者本人から連絡があった場合のみ保健所による健康観察を行う。

ただし、高齢者や重症化リスクの高い患者等については、引き続き、健康観察を実施する。

④自宅療養フォローアップセンターの設置

区保健センターが重症化リスクのある自宅療養者の健康観察に重点化するとともに、重症化リスクの低い患者への速やかな相談対応を維持するため、これまで区保健センターで行っていた軽症患者等からの相談を2月4日から本庁で集約。

2月18日からは民間事業者へ委託を行い、保健所職員は重症化リスクのある方への対応に一層重点化し、重症化防止の強化を図る。

第6波で変更した陽性者等への対応

	従 来	現 在
ファーストコンタクト	陽性者全員に対し、事務職が電話で発生届受理及び、療養上の必要な情報を提供し、別途保健師から疫学調査がある旨を伝える。	【2月5日～】 ・陽性者全員にメールまたは電話にて連絡にて連絡を行い、療養に関する情報提供を行う。
疫学調査	陽性者全員に対し、訪問もしくは電話で感染経路や接触者を調査	・健康状態の調査は重症化リスクのある方に限定し、原則、重症化リスクのない方は調査しない。
健康観察	感染者全員に対し、電話もしくはチャットで毎日連絡	【2月5日～】 ・重症化リスクのある方は、保健師による毎日の電話等による健康状態の確認調査 ・重症化リスクのない方は、自身で健康観察を行い、症状が悪化した場合は、患者から保健所へ連絡をもらい対応
積極的検査	高齢者、障害児・者施設、学校園、保育所等で陽性者が発生した場合、クラスやフロア等の全員に対し検査を実施	【1月26日～】 ・陽性患者が発生した場合の積極的検査は、高齢者、障害児・者施設のみ実施 ・上記以外の福祉施設（保育所など）、学校園への積極的検査は当面の間、停止
濃厚接触者への対応	全員を検査	【2月5日～】 無症状者は検査を実施しない ※有症状者は医療機関を受診
クラスターへの対応	全ての施設を訪問調査	【1月17日～】 クラスターが発生した高齢者、障害児・者施設は調査

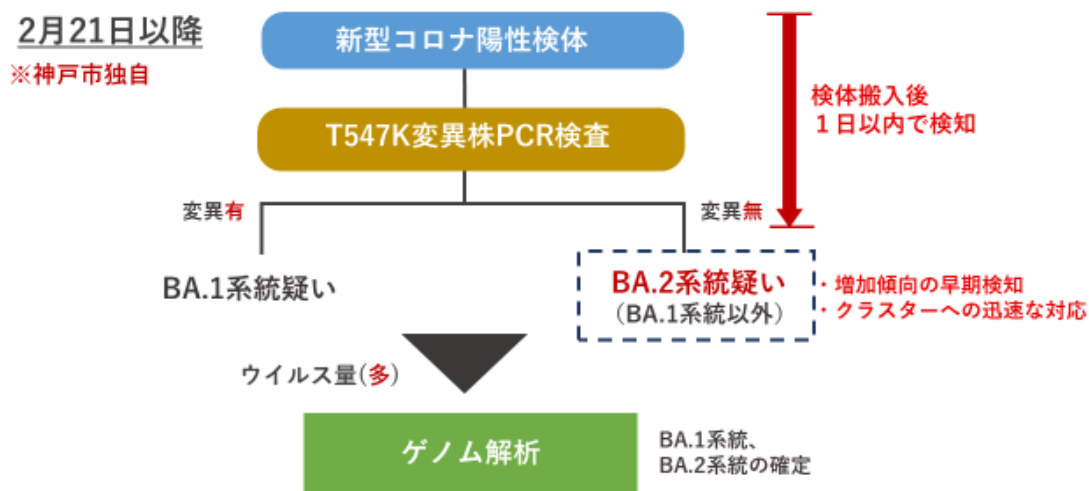
3 変異株ゲノムサーベイランス体制

第6波では、感染力の強いオミクロン株により、感染が急拡大し、現在、変異株は全国的にオミクロン株にほぼ置き変わっている。

オミクロン株は、我が国で主流となっている BA.1 系統 (BA.1, BA.1.1) のほか、BA.2 系統、BA.3 系統の3つに分類されており、現在、BA.1 系統に比べて感染力が強いと言われている BA.2 系統が増加傾向にある。

今後、BA.2 系統への置き換わりが進んだ場合、感染が再拡大する可能性があること懸念されていることから、神戸市健康科学研究所では、2月21日以降、独自に BA.2 系統疑いを早期検知できる変異株 PCR 検査を実施し、ゲノムサーベイランス体制を確保している。

これにより、検体搬入後1日以内に BA.2 系統疑い株を検知でき、重症例やクラスター発生の早期把握に繋げる。



○ゲノム解析の状況（オミクロン株）

発生届出日	ゲノム 確定件数	オミクロン株			
		BA.1 系統		BA.2 系統	
1/10-1/16	350	340	97.1%	2	0.6%
1/17-1/23	405	403	99.5%	0	0.0%
1/24-1/30	519	517	99.6%	0	0.0%
1/31-2/6	467	464	99.4%	0	0.0%
2/7-2/13	427	426	99.8%	1	0.2%
2/14-2/20	346	345	99.7%	1	0.3%
2/21-2/27	265	250	94.3%	15	5.7%
2/28-3/6	226	202	89.4%	24	10.6%
3/7-3/13	146	118	80.8%	28	19.2%
計	3,151	3,065	—	71	—

※届出日から陽性検体回収にタイムラグがあるため、発表後も数値が変更されることがある。特に、直近1週間の届出日分について、次回発表時に数値が変動する可能性がある。

○BA.2 について

オミクロン株はこれまでの変異株に比べて感染拡大の速度が非常に速い中、オミクロン株のうち、BA.2 系統については、世代時間（ある患者が感染してから別の人に感染させるようになるまでの時間）は、BA.1 系統と比べ 15%短く、実効再生産数（1人の感染者から感染が広がる人数）は 26%高いことが示されている。

また、入院リスク及び重症化リスクは BA.1 系統と比べても差がなく、英国では、ワクチンの予防効果にも差がないことが報告されている。

なお、BA.1 系統に感染後の BA.2 系統への再感染については、明らかになっていない。

（厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボードより）

4 ワクチン追加（3回目）接種の促進

令和3年12月1日から、さらなる感染拡大防止及び重症化予防のため、18歳以上の2回目接種完了者に対して追加（3回目）接種を開始している。

また、12歳～17歳に対する追加接種については、令和4年3月11日に国から、早ければ本年4月から開始する見込みであるとの通知があり、必要な接種体制の確保について現在準備を進めている（本市の対象者は約5万人）。

(1) 接種実績

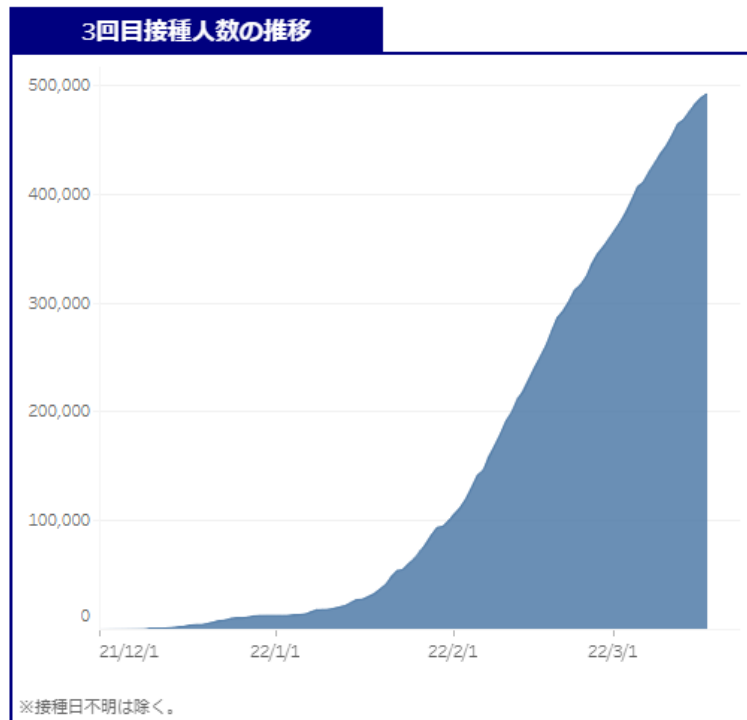
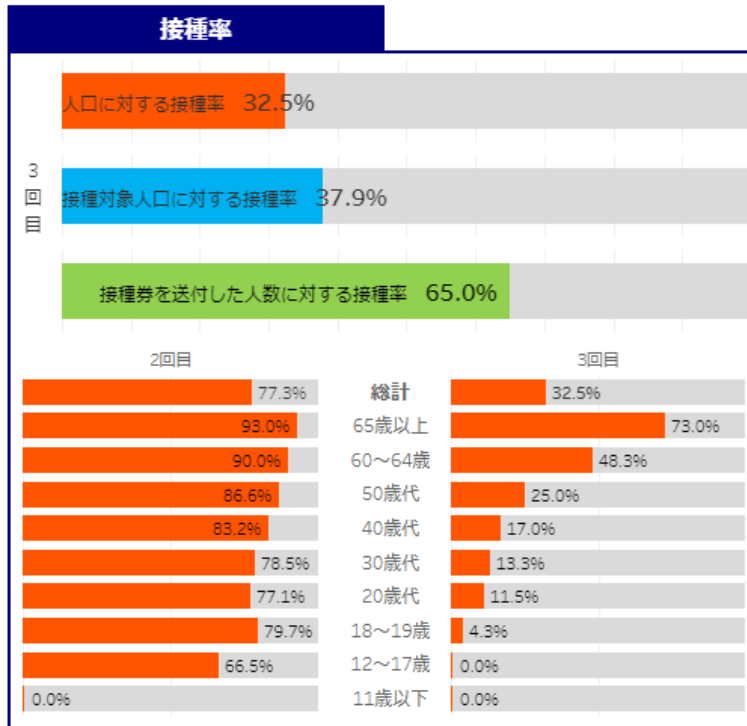
接種実績 (VRSに基づく)

2022年3月17日までに報告があった接種実績

2回目 | 1,170,877人

3回目 | 491,949人

総接種回数 | 2,842,391回



(注釈)

・神戸市に住民登録がある方の実績であり、神戸市外の接種会場（自衛隊大規模接種会場等）で接種を受けた方、医療従事者、職域接種も含まれます。ワクチン接種記録システム（VRS）への登録の時期により、後日修正される場合があります。

・接種率は、「住民基本台帳に基づく人口（前週金曜日までの異動届処理済み）」で算出しています。

(2) 接種体制

①個別接種医療機関（市内 825 か所）（うち初回（1・2回目）接種が可能な医療機関数）

（令和4年3月10日時点）

区	医療機関数	区	医療機関数
東灘区	134(86)	長田区	46(32)
灘区	91(50)	須磨区	79(44)
中央区	124(69)	垂水区	97(53)
兵庫区	56(28)	西区	108(59)
北区	90(48)	合計	825(469)

※ 個別接種医療機関で使用するワクチンは全てファイザー社製ワクチン。

※ 4月中は、個別接種医療機関に対してファイザー社製ワクチンを追加配分して予約枠の拡大を図る。

②集団接種会場（18 か所）・大規模接種会場（2 か所）

区	会場名	ワクチン	備考
東灘区	○東神戸センタービル WEST 棟	モデルナ	
	神戸ファッションプラザ	モデルナ	
灘区	○BB プラザ神戸	モデルナ	3月25日まで
	灘区文化センター	モデルナ	3月8日から
中央区	○センタープラザ	モデルナ	
	市役所1号館24階	ファイザー	1月29日から
	神戸ハーバーランドセンタービル(大規模接種会場)	モデルナ	3月27日まで
	アリストンホテル神戸	モデルナ	3月17日から
兵庫区	○兵庫区役所2階	モデルナ	
	ノエビアスタジアム神戸(大規模接種会場)	モデルナ	1月29日から
	イオンモール神戸南店	モデルナ	
北区	○すずらんホール	モデルナ	
	○エコール・リラショッピングセンター本館	モデルナ	
長田区	○長田区文化センター	モデルナ	
須磨区	○須磨区役所	モデルナ	
	須磨パティオ健康館	モデルナ	
垂水区	○垂水区文化センター	モデルナ	3階（3月27日まで） 4階（4月1日から）
西区	○西神中央駅ビル2階北側	モデルナ	
	○JA 兵庫六甲西神文化センター	モデルナ	
	キャンパススクエア本館	モデルナ	

※ 「○」印は、「おまかせ予約」を選択した場合に予約される会場。

- ・灘区は、3月26日(土)以降の予約は灘区文化センター会場。
- ・集団・大規模接種会場で使用するワクチン(2月～4月)は、市役所1号館24階会場のファイザー社製ワクチンを使用し、他の会場は全てモデルナ社製ワクチンを使用。

(3) 接種時期の前倒し

追加(3回目)接種の時期については、当初、原則2回目接種後8カ月経過後に接種を実施することとされていたが、2回目接種後の接種間隔に関する国の考え方が変更された結果、神戸市では全ての対象者に対して2回目接種後6か月を目途に接種券を送付し、接種券が届き次第できるだけ早く接種を受けていただくよう市民に呼びかけている(接種券は、3月末までに接種対象者の約8割に送付完了予定)。

(参考) 接種券発送 ※2回目接種後6か月を経過した追加接種対象者に発送 (単位:人)

	3月まで	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
医療従事者等	89,352	827	224	16	9	4	0	90,432
65歳以上	387,114	4,794	2,546	480	209	334	35	395,512
18歳～64歳	395,267	148,564	71,677	9,089	3,202	2,904	355	631,058
合計	871,733	154,185	74,447	9,585	3,420	3,242	390	1,117,002
累計	871,733	1,025,918	1,100,365	1,109,950	1,113,370	1,116,612	1,117,002	
接種券発送進捗	78.04%	91.85%	98.51%	99.37%	99.67%	99.97%	100.00%	

※令和4年3月2日までに2回目接種を完了した人数をもとに記載

(4) 「予約なし接種」の実施

現在の感染状況を踏まえ、一日も早く追加(3回目)接種を受けていただけるよう、「ハーバーランドセンタービル会場」において、接種券をお持ちの神戸市民に対し、空き予約の範囲内で、事前予約なしでの接種を実施している(2月28日～3月27日)。

(実績) 1,283人(3月15日時点)

(5) 「団体接種」の実施

「ノエビアスタジアム神戸会場」限定で、企業、各種団体及び大学等教育施設向けに「団体接種」の予約受付を3月17日より開始した(接種開始は3月28日)。

(対象) 神戸市内にある企業、各種団体及び大学等教育施設の従業員、職員、教職員・学生及びその家族(神戸市外に住民票のある方も対象)

(6) 市内学校園・保育施設等の職員(市外居住者)へのワクチン接種の実施

学校園・保育施設等におけるクラスター防止を図るため、「ノエビアスタジアム神戸会場」において、市内学校園・保育施設等に勤務する市外居住者の予約受付を3月24日より開始した。

加えて、初回接種の際に優先接種となっていた職種の方についても同様の取扱いを開始した。

(対象) ※市内の施設に限る

- ・保育所・幼稚園・認定こども園などの保育士・教職員の方
- ・母子生活支援施設等で勤務する方
- ・特別支援学校や小中学校、高等学校などの教職員の方

- ・児童館等の職員の方
- ・高齢者施設及び障害者施設等の従事者の方
- ・居宅サービス事業所・訪問系サービス事業所の従事者の方
- ・高齢者の介護相談窓口等で勤務する方
- ・障害者地域生活支援拠点等で勤務する方
- ・医療従事者・医療機関で実習を行う学生・実習に同行する教員の方
- ・柔道整復師、鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師の方
- ・理容師、美容師の方
- ・公共交通機関の職員の方
- ・消防団の団員の方

5 小児（5歳から11歳）の初回（1回目・2回目）接種について

5歳から11歳の小児接種に使用する新型コロナワクチンについては、令和4年1月21日に薬事承認されるとともに、同月26日の第29回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、特例臨時接種として接種を実施することについて了承された。

国の資料によると、小児については、現時点においてオミクロン株に対するエビデンスが確定的でないことも踏まえ、努力義務規定(※)は適用せず、今後の最新の科学的知見を踏まえ、改めて議論することが適当であるとされている。

神戸市においても、国の方針に従い、神戸市医師会等の協力のもと、令和4年3月から、個別接種医療機関において小児への新型コロナワクチン接種を開始した。

特に、慢性呼吸器疾患、先天性心疾患など、重症化リスクの高い基礎疾患を有する小児は、接種が推奨されており、あらかじめ、かかりつけ医などとよく相談の上、早目の予約をお願いしている。

※努力義務規定は、「接種を受けるよう努めなければならない」とする予防接種法第9条の規定のこと。

・接種券発送日・発送件数

令和4年2月28日(月) 8歳～11歳 (約5.1万人)

令和4年3月7日(月) 5歳～7歳 (約3.6万人)

3月7日(月)以降、満5歳を迎えた小児に毎週送付

・接種実績 1,064人(接種率1.2%) 3月15日現在

・接種体制(個別接種医療機関(市内166か所)) 令和4年3月16日現在

区	医療機関数	区	医療機関数
東灘区	29	長田区	11
灘区	19	須磨区	11
中央区	19	垂水区	21
兵庫区	13	西区	23
北区	20	合計	166

166機関のうち、小児接種のみを実施する医療機関は4機関。